

## 日本開閉器 中国工場完成。 本格的な海外生産始まる。

日本開閉器工業株式会社（神奈川県川崎市高津区宇奈根 715-1 代表取締役社長：大橋智成）は、2004 年度からの新中期経営計画「<sup>クォンタム</sup>Quantum Leap 21」における最重要課題「北米市場でのシェアアップ」を実現するため、準備を進めてきた中国工場がこのほど完成し、本格的な生産を開始した。1月17日の開所式には、東莞市行政関係者をはじめとする来賓や日開関係者が出席した。新工場には、400名が生産に従事できる機密性の高いクリーンルームが装備されており、一部シリーズの生産が既に始まっている。2006年未までに順次、生産移管を行い、海外生産の比率を将来約50%弱にまで高める予定。

### 概略

1. 所在地 中国広東省東莞市清溪鎮漁梁井圍名立工業城内

### 工場規模

1. 敷地面積 6,500 m<sup>2</sup>  
2. 建築面積（延床面積）3,000 m<sup>2</sup>（6,000 m<sup>2</sup>）  
第一期・2004年 2,000 m<sup>2</sup>（4,000 m<sup>2</sup>）  
第二期・2006年 1,000 m<sup>2</sup>（2,000 m<sup>2</sup>）  
3. 従業員数 2007年度までに約400名



工場正面



正面玄関